

(1) 目標を達成するための実施施策の概要

基本方針	施策の方向性	施 策
【基本方針 1】 市街地における回遊性の向上	《施策の方向性 1》 市街地内及び地域間をつなぐ公共交通の機能強化	①市街地循環バスの導入と既存バス路線の見直し
	《施策の方向性 2》 鉄道駅や交通結節点の機能強化	②館山駅各施設の利便性向上（駅前広場の再整備や待合空間整備等）
		③集客施設等におけるバス待ち環境の整備
		④館山駅における鉄道・バス等との接続改善
		⑤JR 内房線の無人駅（那古船形・九重）の利活用
【基本方針 2】 主な公共交通空白地域における地域主体の交通システムの構築	《施策の方向性 3》 南房総市と一体となった公共交通ネットワークの機能強化	⑥平群線・丸線の見直し
	《施策の方向性 4》 地域が関わる新たな交通システムの導入	⑦白浜千倉館山線の見直し
		⑧高速バスの活用とパークアンドライド駐車場の整備
		⑨住民ニーズに応じた豊房線再編見直しの実施
		⑩ラストワンマイル対策のための新モビリティ導入検討
【基本方針 3】 観光二次交通の整備・確保	《施策の方向性 5》 沖ノ島や海岸沿いのアクセス確保	⑪自動運転車両の導入研究
	《施策の方向性 6》 既存路線の観光客対応	⑫グリーンスローモビリティの活用による鏡ヶ浦回遊ルートの設定
【基本方針 4】 高齢者等支援制度の確立	《施策の方向性 7》 高齢者等の外出を支援する	⑬洲の崎線の土休日一部便の観光周遊バス化
【基本方針 5】 公共交通を利用しやすい環境の整備	《施策の方向性 8》 キャッシュレス化の推進	⑭高齢者等、自家用車を使えない人が気軽に外出できる環境づくりの推進
	《施策の方向性 9》 分かりやすい運賃制度の導入	⑮バスやタクシーにおける交通系 IC カードや QR コード決済等の導入
	《施策の方向性 10》 ユニバーサルデザインの導入	⑯ゾーン制など、分かりやすいバス運賃体系の導入
		⑰バスやタクシー車両のバリアフリー化促進
	《施策の方向性 11》 公共交通に関する情報発信の強化	⑱案内表示等の多言語化推進
		⑲Google Map 等におけるバス・鉄道時刻等の情報発信強化
		⑳MaaS に関する取組着手
		㉑南房総市と連携したバス路線マップの製作
【基本方針 6】 公共交通により親しんでもらうための施策展開	《施策の方向性 12》 モビリティ・マネジメントの実施	㉒官公庁でのノーマイカーデーの実施
	《施策の方向性 13》 家族で公共交通に親しめる施策の実施	㉓公共交通利用のメリットに関する市民への普及活動実施
		㉔家族で楽しめるバスや鉄道の乗り方教室の開催
		㉕ファミリー向け割引制度等の導入

(2) 施策事業の概要

施策 1 市街地循環バスの導入と既存バス路線の見直し

○市内を運行する路線バスは、館山駅を起点として放射状に運行しているが、商業施設や医療機関が郊外に立地するようになるなど、移動ニーズが多様化しているため、車が無い高齢者を主な対象に、館山駅から半径おおむね 2km 圏内の施設に便利にアクセスできるよう、循環バス設定や既存バス路線のルート見直しを行う。

【施策事業】

① 循環バスの実証運行

下表ルート案により、既存バス路線でカバーできない市役所や国道 127 号・410 号バイパスのエリアを中心に、循環バス南ルート・北ルートの実証運行を行い、利用状況やニーズの把握を実施し、本格運行を検討する。

【実証運行概要案】

系統	①北回り（6.3km：館山駅～市役所～カインズ～イオン～館山駅） ②南回り（7.0km：館山駅～市役所～館山病院～コメリ～尾張屋～おどや～館山駅）
運賃	均一運賃（200 円）、乗り継ぎは 0 円
運行時間	10:00～18:00
ダイヤ	30 分間隔
車両数	2 台（14 人乗り通勤型）

【市街地循環バスルート案】 ●印は乗継結節点候補地



事業の概要

- ・JRバス関東が運行する洲の崎線（館山駅から西岬地区方面ゆき）の市街地走行ルートを変更し、館山駅東口～イオン～亀田FC～館山駅西口～渚の駅～おどや館山海岸店を經由し西岬方面に戻る形態でイオンや亀田ファミリークリニックに直通させ、利便性の向上を図る。
- ・なお、朝夕の通勤通学時間帯については、ニーズや速達性などを考慮し、既存ルートを運行する。
- ・館山日東バスが運行する市内線（富浦なむや～那古～館山駅～館山航空隊）については、洲の崎線の重複が課題となっているため、館山駅から潮留橋及びおどや館山海岸店を經由し、渚の駅を起終点とするルートに変更する。また、平日の一部便は、館山駅から安房地域医療センターに振り向ける。これにより、渚の駅や安房地域医療センターへのアクセスを向上させる。なお、市内線の見直しについては、南房総市とも協議検討を行い、施策を考案する。
- ・豊房線については、利用者が少なく沿線の集落も県道から離れて分散していることから、既存バス路線を再編見直し、新たな交通システムに移行させる。
- ・前述の循環バスルート設定との整合を図りながら、見直し検討を行っていく。

実施主体	バス事業者、館山市、南房総市							
実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

施策2

館山駅各施設の利便性向上（駅前広場の再整備や待合空間整備等）

事業の概要

○市の玄関口となる館山駅は鉄道、高速バス、路線バス、タクシー、自家用車、自転車等、様々な交通手段が接続する市内唯一の交通結節拠点であるが、駅前広場内の交通機能レイアウトや待合環境が整っていないため、分かりやすく利用しやすい環境整備を行い、乗継利便性の向上や人が集える空間づくりを行う。

【施策事業】

■駅前広場の再整備による安全で分かりやすい環境の創出

- ・公共交通への乗継をスムーズにするため、駐車場や駐輪場を再整備するなど、結節機能を強化すべく、使いやすい駅前広場の整備を検討する。
- ・館山駅東口への大型バスの集中対策等を目的として、館山駅西口に高速バス乗降機能の分担配置を検討する。

■現在の館山駅東口駅前広場



■Wi-Fi のある待合空間イメージ



■快適な待合空間の整備

- ・駅舎内や駅周辺の待合空間は、行政や各交通事業者のベンチや待合所があるが、まとまった快適な待合環境空間が無く、各交通機関の乗り換え情報も提供されていないことから、玄関口としてふさわしい待ち時間を快適に過ごせる空間を整備する。
- ・併せてシェルターやトイレ、空調、Wi-Fi 環境などを整備することで付加価値を高め、待ち時間を有意義に過ごせる環境づくりを目指す。

■JR 館山駅舎2階のバルコニー



実施主体

交通事業者、館山市

実施時期

施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
駅前広場の再整備							
待合空間の整備							
JR 館山駅舎の有効活用							

施策3 集客施設等におけるバス待ち環境の整備

○交通結節点の候補となる主要な集客施設については、待合環境を向上させ、ストレス無く乗継等が行えるよう、施設駐車場用地を活用したバス停の整備、玄関口までの乗入れ、待合空間の確保等について施設管理者と協議調整を図る。

【施策事業】

- ・比較的大規模な敷地を有する集客施設については、利用者の利便性向上を図るため、施設管理者と協議し、施設内のバスの乗り入れ、バス停の確保、バス待ち空間の確保を図る。

【他都市におけるバス待合空間整備の取組み事例】

■埼玉県・「バスまちスポット」「まち愛スポット」登録制度

埼玉県では公共交通を利用しやすくすることで誰もが歩きやすく、地域とつながりやすいまちを目指し、官民が連携した「歩きやすいまちづくり～バスでつなぐ・人がつながる～」事業に取り組んでいる。

対象施設は商店、コンビニエンスストア、病院、金融機関、公共施設等

- バスまちスポット：バス停留所近くで、バスを気軽に待てる施設（概ね50m圏内）
※バスの時刻表を掲示または配布
- まち愛スポット：バス停留所まで歩くときに休憩できる施設（概ね500m圏内）
※ベンチや椅子を設置



■横浜市：コンビニエンスストアと連携した待合スペース

コンビニエンスストアのイートインコーナーをバスの待合スペースとして開放しており、タブレット型バス接近表示機を設置し、バスの運行状況を提供している。



■八戸市：店舗の風除室を活用した待合環境

バス停留所前の店舗（百貨店・パチンコ屋）の風除室にベンチを設置し、バス利用者が休憩できる環境が整備されている。



出典：国土交通省

事業の概要

実施主体 交通事業者、館山市、商業施設や病院など

実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	集客施設等における乗り継ぎおよび待合環境機能の強化							

施策4

館山駅における鉄道・バス等との接続改善

事業の概要

○館山駅は、本地域の交通の要衝であり、各方面への鉄道・高速バス・路線バスが発着する一大ターミナルとなっているが、鉄道と路線バス、高速バスと路線バス、路線バス同士等の乗り継ぎがスムーズにいかないケースがあり、市民からも改善要望が出されている状況である。

○多くの路線が発着するため、全ての接続を担保することは不可能だが、利用者ニーズを把握の上、需要の高い部分を優先し、交通事業者とともに接続改善に取り組む。

【施策事業】

① 高速バス・鉄道と路線バスの接続改善

- ・住民のみならず、観光客等の来訪者が目的地にスムーズに到着できるよう、東京、千葉方面等からの高速バスや特急「新宿さざなみ号」等の列車から各方面路線バスへの接続を改善する。
- ・接続改善の検討に当たっては、交通事業者と連携し、より需要が高いと考えられる乗継パターンから優先して取り組んでいく。

② 路線バス同士の接続改善

- ・目的地に向かう際などに、館山駅での接続時間が長すぎる、逆に短すぎて高齢者では間に合わない等の声が出ていることを受け、乗換なしで行けない場所でも、スムーズな接続によりストレス無く移動できる環境整備を行う。
- ・本事業については「施策②」の各事業とも連携させ、市街地等をスムーズに移動できるような交通網の構築を目指す。

③ 乗継情報の発信強化

- ・各方面への乗換情報等の発信を強化し、限られた便数にあっても、「どの便に乗車すれば適切な乗継時間で目的地まで行ける」等の情報を「見える化」する。
- ・「施策①⑦、⑧」の各事業とも連携させ、効果的な情報発信を目指す。

■豊房線ダイヤ改正時に作成した内房線ダイヤ入り時刻表

平成31年3月16日改正

【館山駅→豊房→神余→安房白浜方面】

病院・商業施設等	停留所名	時刻
	内房線下り到着時刻	7:56 11:31 15:34 16:58
	内房線上り到着時刻	8:00 11:24 14:42 17:12
館山市街地 館山郵便局（六軒町本通り）	館山駅	8:15 12:00 16:00 18:00
	キネマ通り	↓ ↓ ↓ ↓
	六軒町本通り	8:17 12:02 16:02 18:02
館山北條郵便局、市役所 警察署、県合同庁舎	南	8:19 12:04 16:04 18:04
	神明神社前	8:20 12:05 16:05 18:05
	栄福寺前	8:21 12:06 16:06 18:06
館山病院	南長須賀	8:22 12:07 16:07 18:07
スーパー尾張屋	菅	8:23 12:08 16:08 18:08
パワーコメリ	下真倉	8:23 12:08 16:08 18:08
あいクリニック	辻	8:24 12:09 16:09 18:09
館山大戸郵便局	豊田	8:25 12:10 16:10 18:10
	岡田	8:26 12:11 16:11 18:11
	安房西長田	8:27 12:12 16:12 18:12
	安房中山	8:28 12:13 16:13 18:13
	中山陸道	8:29 12:14 16:14 18:14
	上神余	8:30 12:15 16:15 18:15
	安房大倉	8:31 12:16 16:16 18:16
	神余小学校前	8:32 12:17 16:17 18:17
	下真倉	8:33 12:18 16:18 18:18
	津谷	8:35 12:20 16:20 18:20
	松原神社前	8:36 12:21 16:21 18:21
白浜港口郵便局	長尾橋	8:37 12:22 16:22 18:22
	川	8:38 12:23 16:23 18:23
	花の南望	8:39 12:24 16:24 18:24
	安房橋津	8:40 12:25 16:25 18:25
	東橋津	8:40 12:25 16:25 18:25
	野島崎灯台	8:41 12:26 16:26 18:26
和譜医院、おどや白浜店	青木	8:42 12:27 16:27 18:27
	安房白浜	8:45 12:30 16:30 18:30

【安房白浜→神余→豊房→館山駅方面】

病院・商業施設等	停留所名	時刻
	安房白浜	6:20 7:25 9:50 14:15 16:40
和譜医院、おどや白浜店	青木	6:21 7:26 9:51 14:16 16:41
	野島崎灯台	6:22 7:27 9:52 14:17 16:42
	東橋津	6:23 7:28 9:53 14:18 16:43
	安房橋津	6:23 7:28 9:53 14:18 16:43
	花の南望	6:24 7:29 9:54 14:19 16:44
	川	6:24 7:29 9:54 14:19 16:44
白浜港口郵便局	長尾橋	6:25 7:30 9:55 14:20 16:45
	松原神社前	6:26 7:31 9:56 14:21 16:46
	津谷	6:27 7:32 9:57 14:22 16:47
	下神余	6:29 7:34 9:59 14:24 16:49
	神余小学校前	6:30 7:35 10:00 14:25 16:50
	安房大倉	6:31 7:36 10:01 14:26 16:51
	上神余	6:32 7:37 10:02 14:27 16:52
	中山陸道	6:33 7:38 10:03 14:28 16:53
	安房中山	6:34 7:39 10:04 14:29 16:54
	安房西長田	6:35 7:40 10:05 14:30 16:55
	岡田	6:36 7:41 10:06 14:31 16:56
館山大戸郵便局	豊田	6:37 7:42 10:07 14:32 16:57
あいクリニック	辻	6:38 7:43 10:08 14:33 16:58
パワーコメリ	下真倉	6:39 7:44 10:09 14:34 16:59
スーパー尾張屋	菅	6:39 7:44 10:09 14:34 16:59
館山病院	南長須賀	6:40 7:45 10:10 14:35 17:00
	栄福寺前	6:41 7:46 10:11 14:36 17:01
	神明神社前	6:42 7:47 10:12 14:37 17:02
館山北條郵便局、市役所 警察署、県合同庁舎	南	6:43 7:48 10:13 14:38 17:03
	六軒町本通り	6:46 7:51 10:16 14:41 17:06
館山市街地 館山郵便局（キネマ通り）	キネマ通り	6:47 7:52 10:17 14:42 17:07
	館山駅	6:50 7:55 10:20 14:45 17:10
	内房線木更津方面時刻	7:05 8:02 10:38 15:05 17:17
	内房線安房白浜方面時刻	7:10 8:08 11:39 15:06 18:09

実施主体 館山市、交通事業者

実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

施策5

J R内房線の無人駅（那古船形・九重）の利活用

事業の概要

○市内の那古船形駅と九重駅は無人駅となっており、切符が買えない等の物理的な不便さのみならず、駅員不在であることの不安感や賑わいの低下が懸念される状況である。

○これら無人駅を、かつてのように賑わいのある「地域の玄関口」として復活させ、地域の拠点、交通結節点として機能させるべく、鉄道事業者や地域住民等と連携し、利活用の方策を検討する。

【施策事業】

① 那古船形駅の利活用検討

- ・大正時代に建てられた駅舎がそのまま残る那古船形駅は、アーティストのプロモーションビデオのロケ地として使われているほか、休日には撮影に訪れる人もいるなど人気が高いため、J R東日本等と連携し、駅舎の保全と利活用を検討する。
- ・具体的には、立地や状況を考慮し、サイクルツーリズムの拠点とする施策を検討していく。

② 郵便局との機能統合など、駅舎の利活用に向けた検討

- ・J R東日本においても、無人駅の利活用に向け、郵便局との合築駅舎化やクラウドファンディングを利用した無人駅の利活用事業等を推進しているため、J R東日本と連携し、無人駅の駅舎利活用の手法について研究・検討を重ねる。

■レトロな駅舎が人気の那古船形駅（令和元年4月1日から無人化）



■鴨川市 江見駅は郵便局との合築駅舎になる予定
写真等は後日追加

実施主体

館山市、交通事業者

実施時期

施策事業

2020

2021

2022

2023

2024

2025

2026

施策6

平群線・丸線の見直し（三芳分庁舎を中心としたハブ＆スポークによる再編）

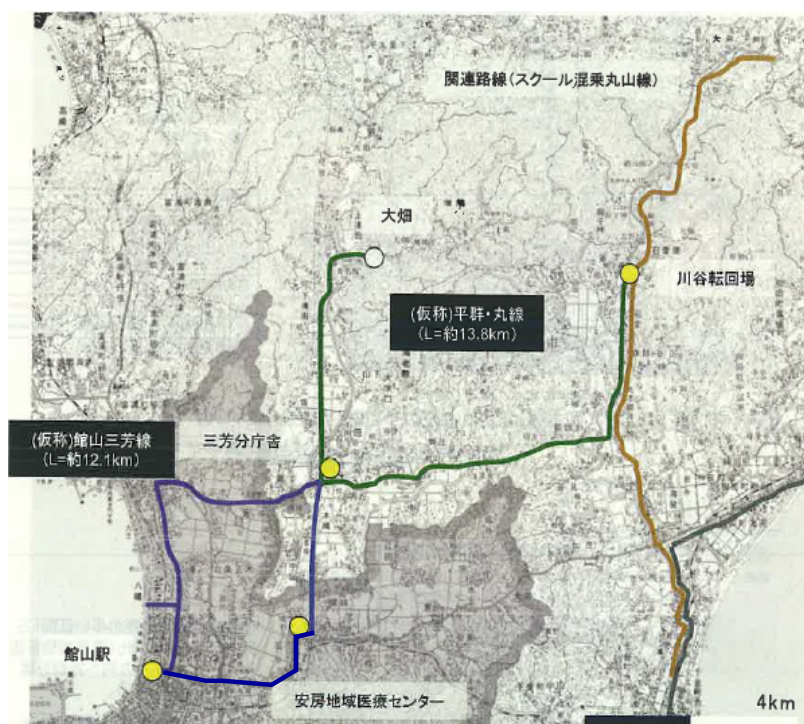
事業の概要

- 平群線・丸線については、館山市内は市内線と同じルートを運行しており、南房総市域に入ると人口が希薄なエリアを走行するため、利用者も少なく経費が増大していることから、南房総市と連携し、輸送の効率化や利用促進を図る。
- 事業の実施に当たっては、南房総・館山地域公共交通活性化協議会において、南房総市とともに内容検討を行っていく。

【施策事業】

- ・館山駅から南房総市三芳分庁舎間は、地域間幹線系統として、イオン・亀田ファミリークリニック・カインズホームからバイパスを経由、那古健人館にも乗入、三芳分庁舎から県道88号線を通り安房地域医療センターに向かい、館山駅に戻る循環系統とする。これにより、国道127号バイパスに立地する商業施設や、安房地域医療センターに向かう需要をカバーする。
- ・三芳分庁舎を交通結節点として、三芳分庁舎以遠（平群、川谷方面）は小型車両等によるフィーダー系統として運行する。

【運行ルート案】※南房総市地域公共交通網再編実施計画を参照し作製



実施主体

バス事業者、
館山市、南房総市

実施時期

施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
① 平群線							
② 丸線							

施策7

白浜千倉館山線の見直し

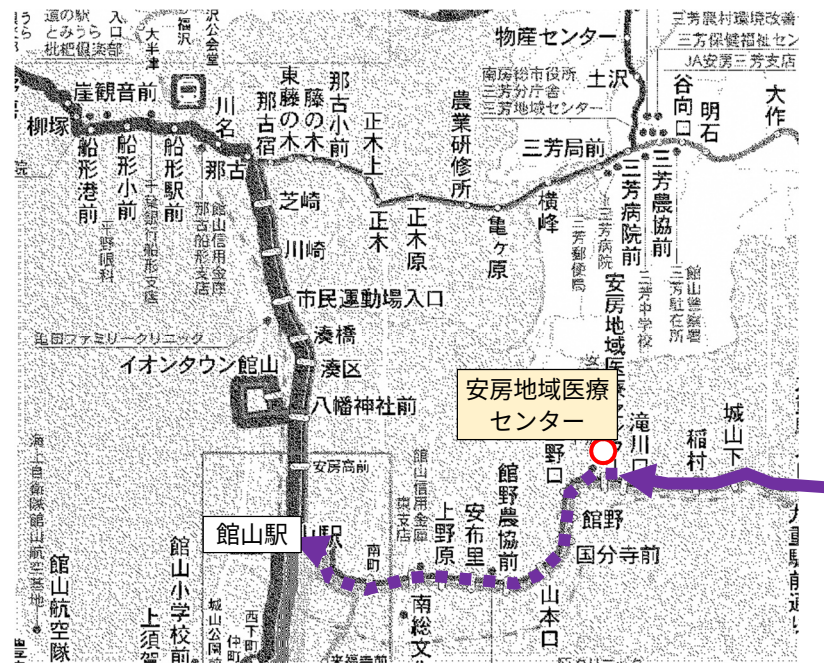
事業の概要

- 白浜千倉館山線は、平成31年3月に「白浜千倉線」と「館山千倉線」の利便性の向上を目的としたダイヤ改正が行われ、1本に統一されているが、館山駅から九重間は現状鴨川線と競合していることから、効率化と新たな需要開拓を目的として、安房地域医療センターを交通結節点（起終点）とし、本路線により館野・九重地区の公共交通空白地を巡回するようなルート設定をあわせて検討する。
- 事業の実施に当たっては、南房総・館山地域公共交通活性化協議会において、南房総市とともに内容検討を行っていく。

【施策事業】

① 白浜千倉館山線の見直し（安房地域医療センターまでの運行）

- ・千倉方面からの便について安房地域医療センターを起終点とし、再編後の平群線・丸線や市内線と接続させることで、安房地域医療センターを交通結節点とした路線網を構築する。
- ・館野・九重地区の公共交通空白地（腰越、広瀬、江田、竹原等）や九重地区の商業施設を巡回するルートとし、公共交通空白地の解消をあわせて目指す。
- ・（仮称）九重バイパスの供用開始にあわせ、九重駅周辺エリアのルート見直しを行う。



実施主体

バス事業者、
館山市、南房総市

実施時期

施策事業

2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

施策 8		高速バスの活用とパークアンドライド駐車場の整備							
事業の概要	○高速バスの着地側区間について、路線バスと同じように乗降可能とし、希薄な公共交通網を補完する役割を持たせる。 ○鏡ヶ浦クリーンセンター敷地をパークアンドライド駐車場として整備し、高速バスをより便利に利用できる環境づくりを検討する。 【施策事業】 ① 「ハイウェイオアシス富楽里」以南の停留所相互間で乗降を可能とする制度の導入検討 ・ハイウェイオアシス富楽里から南側の区間について、停留所相互間での乗降を可能とし、本数の少ない区間や南房総市と館山市内の移動等に活用できる形態を検討する。 事例) 東京駅⇄銚子間高速バスのうち、旭中央病院～銚子市内は通院用バスとして利用され、旭中央病院での乗降が可能となっている。 ② 高速バスの鏡ヶ浦クリーンセンター停車と、同敷地のパークアンドライド駐車場としての活用 ・鏡ヶ浦クリーンセンターの広大な敷地を駐車場として整備し、新たに高速バスを停車させ、パークアンドライドの拠点とする。 ・船形バイパスの完成とそれに伴う高速バス運行ルート付け替え検討とセットでパークアンドライド拠点の整備を検討する。								
	実施主体	バス事業者、館山市、南房総市							
	実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
		①「ハイウェイオアシス富楽里」及び「とみうら枇杷倶楽部」相互間における乗降可能の実現							

施策9

住民ニーズに応じた豊房線再編見直しの実施

事業の概要

- 豊房線は豊房神余地区を県道経由で貫いて走っているが、当該地区の集落は県道から離れた場所に点在しており、バス停までの距離が遠いなどの理由で利用に結びついていない状況である。
- 主な利用者である高齢者がより利用しやすくするため、車両を小型化し、集落内にこまめに乗り入れる形態への転換を地域住民とともに検討し、新たな交通システムへ移行させる。
- 事業の検討・実施に当たっては、南房総・館山地域公共交通活性化協議会において、南房総市とともに内容検討を行っていく。

【施策事業】

① 住民と協働し、見直し案を策定

- ・地区住民とともに今後のあり方等について検討し、以下の②や③に例示したようなニーズに合った最適な運行形態を考える。

② 車両の小型化

- ・走行空間の制約や人手不足解消のため、大型免許を必要としない10人以下の定員のワゴン車とすることでドアトゥドアに近い柔軟な運行が可能となることが考えられる。



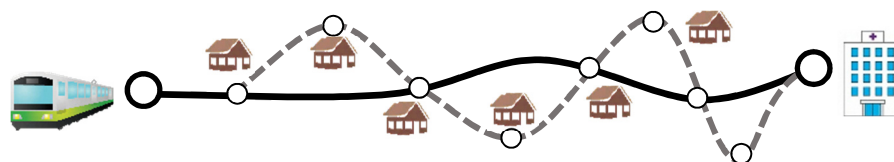
③ 集落内へのこまめな乗入

- ・現行のバス停から遠い人たちを取り込むため、小型車両で集落を巡回し、市街地に向かうルート設定に変更する。立ち寄る集落は、曜日別に決める。

【運行案】

- ・定時定路線型をベースに、集落の中まで乗り入れる。
- ・バス停まで遠い地域に迂回ルートを設定。
- ・運行日は曜日別とし、2回/週程度を3地域で運行する。
- ・朝夕の通勤通学時間帯は、現行ルートの直行便も検討する。

運行イメージ



実施主体 館山市、地域住民、バス事業者

施策事業	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
実施時期									

施策 10

ラストワンマイル対策のための新モビリティ導入

○幹線道路とそこを走る路線バスの停留所から離れた集落（公共交通空白不便地域）の住民の利便性向上を図るため、主に最寄りのバス停やスーパー、コンビニへの交通手段を確保し、外出しやすい移動環境を提供する。

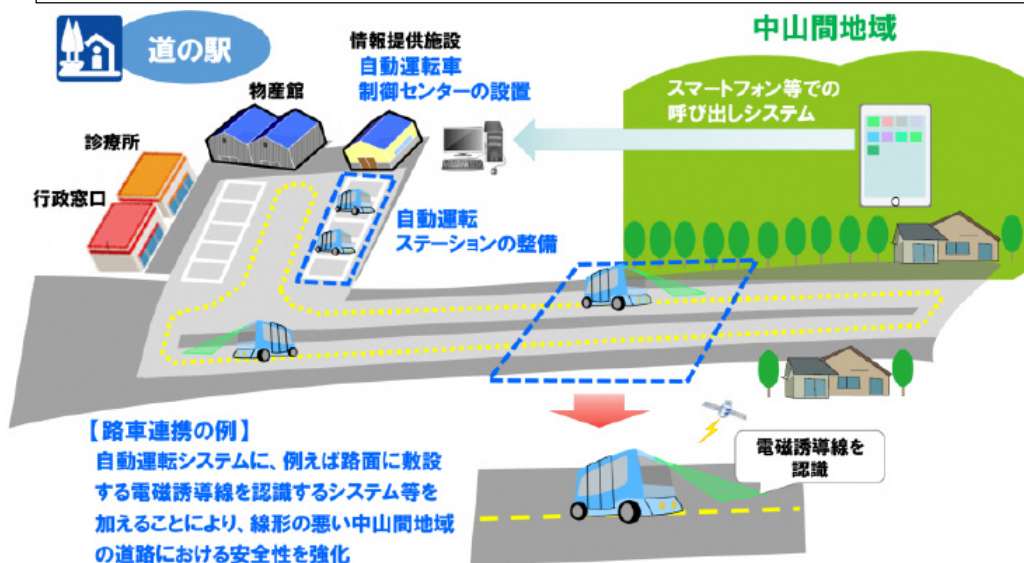
【施策事業】

①グリーンスローモビリティの導入検討（神戸、富崎、館山、西岬、那古地区）

- ・既存路線バスの一部乗入れも考えられるが、路線長が長くなり非効率な運行となるため、主要な最寄りバス停までの新たな交通システムの導入を検討する。
- ・新たな交通システムの導入に向けては、GSM を活用した地域主体の取り組みにより検討を進めるが、当面はシニアカーや電動アシスト三輪車等を用いた簡易なシステムとし、将来的には EV や自動運転システムによるスマートモビリティの導入を目指す。

【運行イメージ】

- ・ボランティア輸送（地域主体）
- ・自家用有償運送による運行（地域主体）
- ・交通事業者による運転委託
- ・将来的には自動運転制御運行
- ・自宅から最寄りバス停や最寄りの生活関連施設までの運行 など



【車両イメージ】

■当面



■将来



事業の概要

② 城山公園シャトルカーを活用したコミュニティ交通の導入
(西岬、神戸、富崎地区)

- ・休日運行している城山公園シャトルカーを活用し、平日に神戸地区の交通空白不便地域と商業施設を結ぶコミュニティ交通の導入を検討する。

■城山公園シャトルカー（土・日・祝日運行）



【運行イメージ】

- ・自家用有償運送による運行（坂井～布沼～藤原セブン～（この間乗降不可）～おどや大神宮店～富崎地区集落内～おどや大神宮店～安房神社～中里～竜岡）

図面 後日準備

実施主体	館山市、地域住民、交通事業者							
実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	① GSM等の導入検討							
	② 城山公園シャトルカーを活用したコミュニティ交通							

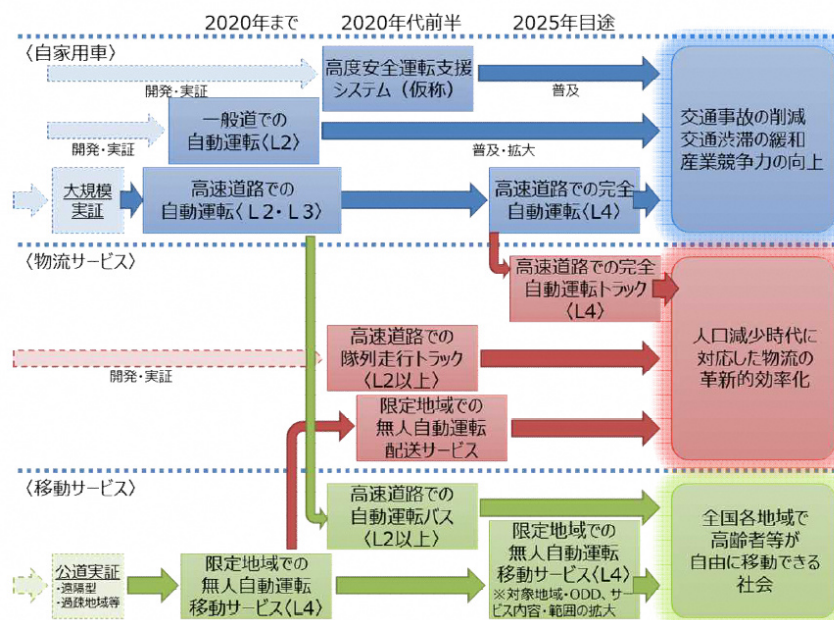
施策 11 自動運転車両の導入研究

○運転手不足やGSMの導入を考慮した交通システムについて、自動運転等先進技術の動向および事例等の調査研究を進め、今後の事業展開の参考とする。

【施策事業】

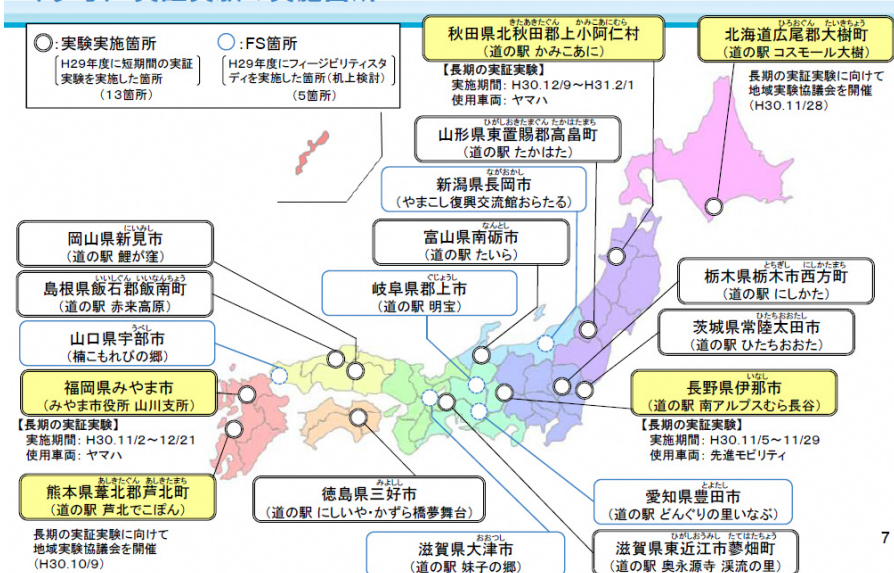
① 先進技術開発の動向把握

〈2025年完全自動運転を見据えた市場化・サービス実現のシナリオ〉



② 先進導入事例の調査研究

（参考）実証実験の実施箇所



実施主体 館山市、交通事業者

実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	①先進技術開発の動向把握							
	②先進導入事例の調査研究							

施策 12

グリーンスローモビリティの活用による鏡ヶ浦回遊ルートの設定

事業の概要

○現状、観光客が館山市街地（鏡ヶ浦エリア）を気軽に周遊する手段がないため、グリーンスローモビリティを導入し、土休日に「鏡ヶ浦回遊ルート」を設定し、観光客の二次交通を確保する。加えて、沖ノ島に乗り入れることで、公共交通でも沖ノ島に気軽にアクセスできるような環境を整備する。

【施策事業】

- ・小型、低速、電動でエコなグリーンスローモビリティを導入し、海岸沿いや城山公園をゆったり、のんびり周遊し、各観光スポットで途中下車できるような回遊ルートを設定する。

【運行イメージ】

- ・館山駅西口～城山公園～沖ノ島～渚の駅～館山駅西口



実施主体 館山市、バス事業者

実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

施策 13

洲の崎線の土休日一部の観光周遊バス化

事業の概要

○洲の崎線については、観光施設や旅館等が集中する風光明媚な海岸線を運行していることから、土休日の一部の便をダイヤ変更し、観光客を主なターゲットとしたルート設定やサービスの提供を図る。

【施策事業】

① 観光周遊バスの設定

- ・特急「新宿さざなみ号」や高速バスの発着に合わせたダイヤとするなど、自家用車以外で訪れた人が利用しやすい時刻設定とする。
- ・宿泊施設や観光施設を周遊し、チェックイン・チェックアウトを考慮したダイヤ編成、ラッピング、観光アテンダントの同乗等を検討し、付加価値を高める。

■ぶらり野毛山動物園 BUS（横浜市）

■金栗四三周遊バス（玉名市）



② 路線が分断されている南房パラダイスから相の浜間の運行復活

- ・現在、洲の崎線は南房パラダイスまで運行され、南房総市白浜方面には接続していないが、観光客の回遊性確保を主な目的に、南房州本線の相の浜またはフラワーパークバス停までの延伸（運行復活）を検討する。
- ・観光周遊バスが実現した場合、当該便を延伸させ、西岬地区と安房神社エリアや南房総市白浜地区相互間のアクセスを向上させる。

■洲の崎線延伸（運行復活）

イメージ



③ 貨客混載

- 観光周遊バス設定に合わせ、観光客の手ぶら観光を容易にし、利便性と快適性向上により、さらに回遊性の向上をはかるため、館山駅等から宿泊施設までの手荷物を事前に配送するサービスを貨客混載で実施する。

- ・ 渋川伊香保温泉観光協会と共同で旅行者の荷物を宿泊先へ配送する「手ぶら観光サービス」の実験を同市内で始めている。
- ・ ヤマト運輸などとの実験で、関越交通は路線バスで「客貨混載」を実施する。
- ・ 旅行者が JR 渋川駅前にある「渋川駅前プラザ」に荷物を預けると、ヤマト運輸が伊香保温泉の宿泊先に届ける。荷物の運搬手段として、関越交通の路線バスに乘客と貨物を一緒に乗せて運ぶ「客貨混載」を実施している。



実施主体 館山市、バス事業者、観光団体等

実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	①観光周遊バスの導入							
	②貨客混載							

施策 14

高齢者等、自家用車を使えない人が気軽に外出できる環境づくりの推進

事業の概要

- 介護認定等、福祉施策の恩恵に与れない高齢者等であっても、気軽にお出かけできる環境をつくり、健康増進や介護予防の効果を狙う。
- 福祉部局とは連携をとりつつ、サービスの重複を防ぐため、福祉施策の範疇で行うことと、そうでないことの住み分けを明確にする。

【施策事業】

① 運転免許返納者や非所持者支援策（タクシー運賃補助）の導入

- ・自家用車を利用できない高齢者等の移動を確保するため、路線バスに代わる移動手段を確保すべく、地域の高齢者等、自家用車を運転できない人を対象に、個人又はグループでタクシーを利用する際に支払う運賃等の一部を助成する制度の導入について検討する。なお、グループで利用した方が一人当たりの負担額が軽減されるように制度設計し、複数人での乗車を促進する。
- ・この制度により、高齢者等の日常生活の利便性向上と社会活動の拡大に資するとともに、地域の住民が声を掛け合い、共同でタクシーを利用することを通して、地域のコミュニティ形成にも寄与する。

■グループタクシー利用のイメージ（出典：山口市）

例えば・・・

300円の利用券をお持ちの方が、
ご自宅からスーパーまでの3kmをタクシーでお出かけする場合、
タクシー料金は1,110円（小型）になります。

◆1人で利用した場合

1枚しか利用できないため、残り810円は現金で支払います。

◆300円の利用券をお持ちの方が3名で相乗りした場合

1人1枚ずつ利用して合計900円分利用できるため、残り210円。
210円を3人で割ると、1人70円。

グループで乗ればお得です！



② 民間事業者と連携した日用品移動販売の検討

- ・現行でも一部のエリアで移動販売が行われているが、事業者とタイアップし、交通が不便な地域を中心に移動販売の拡充を検討する。

③ 「ノーカー・サポート優待証」等の運転免許返納者向け施策の周知強化

- ・免許返納者向け割引制度は既に存在するが、制度についての周知を強化し、ノーカー・サポート優待証の取得に係る手間を簡略化するなど、多くの人が施策を活用できるような環境整備を検討する。

④ 公共交通のメリットや健康面の効果に関する高齢者への周知

- ・福祉部局と連携し、高齢者が集まる場などで、公共交通利用のメリット等に関する説明やチラシ配布を行うなどの周知活動を通じ、利用促進を図る。

実施主体	館山市、交通事業者							
実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

■他都市におけるグループタクシーの導入事例 (山口県山口市)

**みんなで使おう！
グループタクシー**

みんなで乗り合えば乗り合うほど、お得にお出かけできるグループタクシー。
まだ利用券をお持ちでない近所さんがいらっしゃったら、声をかけてグループに誘って、一緒にお得にお出かけしましょう！
ただし、利用券をもらえる人には要件があるので注意してください。

要件って？

1. 65歳以上の方
2. 自宅からいちばん近い駅やバス停等まで1.0km以上距離がある方
※駅やバス停などから1.0km以内であっても途中で坂道がある場合などは考慮され、対象となる場合があります。
3. 福祉タクシー券、おでかサポートタクシー料金助成制度を受けていない方
以上3つの条件をすべて満たした方が対象となります！

利用券の金額はいくら？

自宅からいちばん近い駅やバス停まで
1.0km以上1.5km未満 ⇒ 300円券 × 年間60枚
1.5km以上4.0km未満 ⇒ 500円券 × 年間60枚
4.0km以上 ⇒ 700円券 × 年間60枚

※再発行・再交付はできませんので、紛失にご注意！
※使用期間は、4月1日～翌年3月31日まで。
(1年ごとの更新が必要になります)

山口市グループタクシー利用券 500円
有効期限 平成30年3月31日 山口市

(山口県岩国市)

**みんなで使おう！
グループタクシー**

公共交通の利用が不便な地域にお住まいの65歳以上の方がタクシーをグループで利用される場合にグループタクシー利用券を交付します。

1 交付の対象

- 1 岩国市内に住所がある方
- 2 タクシー事業者の運行区域内に自宅がある方
- 3 自宅からいちばん近い駅やバス停（フリー乗降区間については運行ルート）等までの距離が1.0km以上ある方
- 4 65歳以上の方
- 5 岩国市高齢者等福祉タクシー料金助成券、岩国市重度障害者福祉タクシー料金助成券の交付を受けていない方

以上5つの要件をすべて満たす2人以上でつくるグループが対象です。グループの代表者を決めて、申請してください。

2 利用券の金額と枚数

自宅からいちばん近い駅やバス停（フリー乗降区間については運行ルート）までの距離に応じて

1.0km以上1.5km未満 ⇒ 300円券×ひと月あたり5枚
1.5km以上4.0km未満 ⇒ 500円券×ひと月あたり5枚
4.0km以上 ⇒ 700円券×ひと月あたり5枚

※再発行・再交付はできませんので、紛失にご注意ください
※使用期間は平成27年7月1日～平成28年3月31日まで
(1年ごとの申請が必要です)

(宮城県大崎市)

○対象者

年齢要件	65歳以上
距離要件	自宅から最寄りのバス路線（鳴子線、宮沢真山線、清滝線、古川線、大貫線及び三本木大衡線に限る。）の停留所までの距離が800m以上あること
その他の要件	以下のいずれかに該当する者は、対象者から除く ・高齢者タクシー利用助成券の交付を受けている者 ・高齢者福祉有償運送利用助成券の交付を受けている者 ・重度障害者福祉有償運送利用助成券の交付を受けている者 ・福祉タクシー利用券の交付を受けている者 ・心身障害者自動車等燃料費助成券の交付を受けている者

○制度の内容

- ・申請されたグループに対して利用券を交付する形で運用している。

利用助成券の内容	利用者1人につき1月当たり2枚を交付
利用方法	・利用者は、2人以上でタクシーを利用したときに、1回の乗車につき1人1枚の利用助成券を使用することができる。 ・利用者は、運賃等から利用助成券の額（600円）を差し引いた額を支払う。

■グループタクシー利用助成券本券 (表面)

利用券No. (控) 大崎市グループタクシー利用助成券 (控)	交付No. 大崎市グループタクシー利用助成券
利用年 月 日	利用年 月 日
年 月 日	年 月 日
助 成 基 準 額	利用者氏名 人数 人
乗車1回につき600円	本券の用途 タクシー運賃等の助成
	助成基準額 乗車1回につき600円
	有効期限 年 月 日
大 崎 市	大 崎 市 長 印

(鹿児島県阿久根市)

**みんなで
お得に使おう
グループタクシー**

みんなで乗り合えば、お得にお出かけができるグループタクシーの利用が開始されました。
3人以上のグループをつくって、利用券の交付を受け、一緒にお得にお出かけしませんか。
ただし、利用券の交付を受けられる方には次の①の要件がありますのでご注意ください。

○利用できるタクシー会社

会社名	所在地	電話番号
阿久根タクシー	港町36番地2	0996-72-1311
南石澤タクシー	脇本8030番地6	0996-75-0205
平塚第一交通	琴平町1番地	0996-72-1135
めぐみ福祉タクシー	大川1070番地2	0996-74-2100

① 利用券の交付を受ける要件

- ① 65歳以上の方または、障がい者の手帳をお持ちの方
- ② 自宅から一番近い駅やバス停まで、1km以上距離がある方
- ③ 乗合タクシーが運行していない区域に住んでいる方

以上3つの条件をすべて満たした原則3人以上のグループが対象となります！

② 利用券の種類

自宅から一番近い駅やバス停までの距離

- ・1.0km以上1.5km未満 ⇒ 300円券 × 年間60枚
- ・1.5km以上4.0km未満 ⇒ 500円券 × 年間60枚
- ・4.0km以上 ⇒ 700円券 × 年間60枚

※再発行・再交付はできません。紛失には注意してください。
※使用期間は翌年3月31日までです。1年ごとの更新が必要です。

③ 利用券の使い方

利用券は1回の乗車につき、1人1枚利用できます。
◇利用券をお持ちの方が乗り合わせることで、1人あたりの支払額が減ります。
◇1人でも利用できます。
◇利用券をお持ちでない方とも一緒に乗車することはできますが、利用券は本人分に限ります。
◇運賃以上の金額を利用券で支払うことはできません。
◇お持ちの利用券を他人に譲渡することはできません。
◇阿久根市内のタクシー会社に限り利用できます。

④ 電話でのタクシーの呼び方

- ① 「タクシー会社」に電話をします。
- ② 「地区名」を伝えます。
- ③ 「氏名」を名乗ります。
- ④ 来てほしい「時間」を伝えます。
- ⑤ 来てほしい「場所」を伝えます。

施策 15

バスやタクシーにおけるキャッシュレス化の推進

- IC カード等による料金支払いのキャッシュレス化は、両替等の手間も無く便利で、全国的に普及しているが、交通事業者にとっては、機器の導入コスト、運用コストの負担が大きいなどの理由で、本市においては導入が進んでいないのが現状である。
- 今後のインバウンド観光客増加や決済技術の進歩等を見据え、低コストで使い勝手の良いキャッシュレスシステムの導入を、官民一体となって検討していく。

【施策事業】

- ・IC カードの導入検討
- ・QR コード決済等のキャッシュレスシステムの導入検討

■導入におけるメリット

【利用者】

- ・面倒さや煩雑さの軽減、インバウンド需要への対応
- ・乗降に要する時間の短縮
- ・障がい者パス等の福祉サービスの活用と連携することによるバリア軽減

【交通事業者】

- ・乗務員が運賃等を確認する作業の省力化
- ・乗降時間の短縮による定時制・速達性の確保、人的負荷の軽減
- ・OD データの活用による生産性の向上

【地域社会】

- ・地方公共団体や商店街、観光地等の地域の連携・協働により総合的な地域サービスカードとしての機能を発揮
- ・まちの賑わいの創出に貢献



事業の概要

【他都市における交通系 IC カードを活用した地域活性化事例】

■高松市・多様なサービス・団体と連携

平成 17 年から導入している Iruca は、各種割引サービスに加え、地域の駐車場やコインロッカー、公園・美術館の入場料、病院の診療費、住民票等の発行手数料などに利用できる電子マネー機能を有するとともに、香川大学の学生証・職員証や高松市役所の職員証との連携、地域の銀行のキャッシュカード・クレジットカードとの連携により、重要な地域サービスの 1 つとなっている。



■八戸市：店舗の風除室を活用した待合環境

富山ライトレール(株)が平成 18 年に導入した passca と富山地方鉄道(株)の ecomyca は相互利用が可能であり、LRT や鉄道、バス等の交通サービスのみではなく、コミュニティサイクル「アヴィレ」や商業施設との連携により、中心市街地活性化に貢献している。また、富山大学の学生証や市役所職員の職員証との組み合わせによる利用拡大も図られている。

さらに「おでかけ定期券」の利用状況に関するデータを医療費削減額とも組み合わせ、同事業の実施に対する財政支援の効果測定に活用している。

実施主体

交通事業者、館山市

実施時期

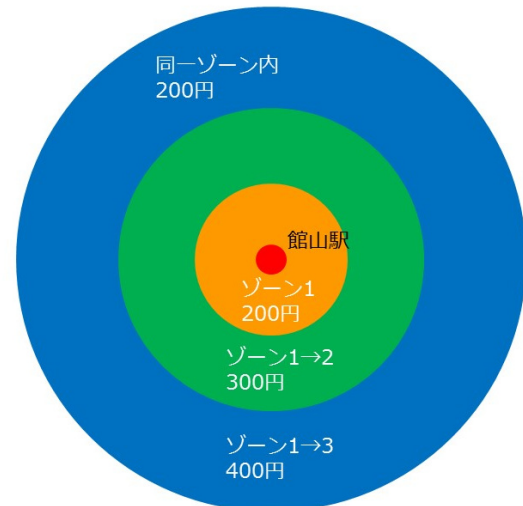
施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
①キャッシュレス化							

施策 14

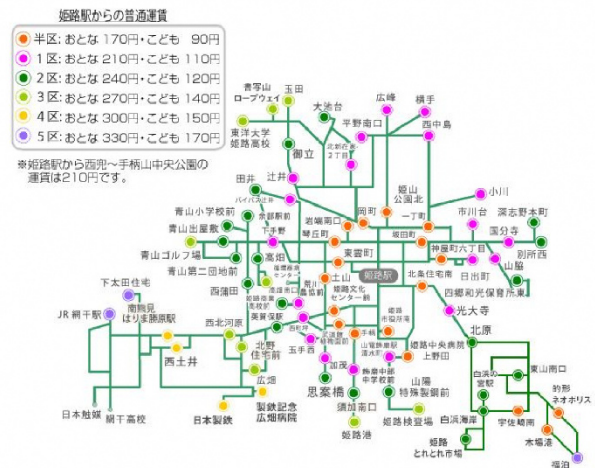
ゾーン制など、分かりやすいバス運賃体系の導入

○現在のバス路線の運賃体系は「対距離区間制」で、路線や区間により細かく刻まれた運賃設定となっており、利用者にとって分かりづらく支払いづらい状況となっている。このため、路線網を矩形、または同心円状に分けたゾーンで区切って、ゾーンを跨ぐごとに運賃が加算されてゆく制度の導入を事業者や南房総市とともに検討する。

■ゾーン制運賃の概念図（例）



■神姫バスのゾーン運賃（例）



事業の概要

実施主体 バス事業者、館山市、南房総市

実施時期

施策事業

2020

2021

2022

2023

2024

2025

2026

①

施策 15 バスやタクシー車両のバリアフリー化促進	
---------------------------	--

事業の概要	○バリアフリー化車両の導入により、バスやタクシーの乗降をしやすくすることで、高齢者や障がい者をはじめ、全ての人がスムーズに移動できる環境を創出するとともに、公共交通の利用促進につなげる。 【施策事業】 ・高齢者や障がい者の他、妊産婦など様々な人が快適にバスを利用できるようノンステップバスの導入を交通事業者、県等と連携し推進する。 ・タクシーにおいてもUD（ユニバーサルデザイン）タクシーの導入が図られるよう交通事業者、県等と連携する。							
	 							
	実施主体 交通事業者、館山市、南房総市							
実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	①							

施策 16 案内表示等の多言語化推進	
--------------------	--

事業の概要	【施策事業】 ・2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会を控え、開催時さらには開催後も見据え、外国人旅行者の円滑な移動や快適な滞在に資する都市環境の向上を目指すため、分かりやすい案内表示・標識等の設置、無料公衆無線 LAN サービス、ICT を活用した歩行者移動支援サービス、バリアフリー関連情報の多言語化等の検討が進められている。 ・館山市においても、今後多くの観光客や外国人訪問者が来訪することが見込まれるため、「千葉県多言語観光案内板の表記等に関するガイドライン」に基づき、行政、民間団体及び企業等が相互に連携・協働した多言語対応の強化・推進を図るための施策について検討する。検討に当たっては、オリンピック・パラリンピック東京大会以降の外国人観光客の誘客にも役立つよう、中長期を見据えたものとする。 ・南房総市とも連携し、外国人観光客がエリア内をストレス無く移動できるような環境整備に努める。							
	実施主体 館山市、南房総市、交通事業者							
	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
実施時期	①							

施策 17	Google Map 等におけるバス・鉄道時刻等の情報発信強化
--------------	--

事業の概要

【施策事業】

- 市内の公共交通データを Google に提供することで、Google マップ上でバスや鉄道の路線や出発・到着時刻等が検索可能となる。
- このため、国が策定した標準的なバス情報フォーマットに基づき、データを収集し、情報発信強化を図る。
- 南房総市とも連携し、生活圏全体での情報発信強化を目指す。

岐阜県中津川市

市内のバス路線の「GTFS-JP」「GTFS-RT」データを整備しオープン化
多言語整備しインバウンド需要に対応、デジタルサイネージも低コストで導入

標準的なバス情報フォーマット (GTFS-JP)

2017 年 3 月に国土交通省が定めた形式
バス停の位置情報、時刻表、ルート、運賃などの複数の CSV ファイルを格納した ZIP ファイル

GTFS-JP のオープンデータ化→バスの活性化に

スマホで経路検索
インターネットで
バス経路の検索が
可能に

サイネージで運行案内
バス車両の現在位置情報など
を組み合わせ、リアルタイム
で運行情報を案内

調査・分析の基礎データ
GTFS-JP と国勢調査 5 次メッ
シュ人口を利用した、高齢者
の人口分布とバスサービスの
可視化の例

クリスマスバスでバスロケ
単なる移動手段ではない
「ゆしみの公共交通」の
創出と、公共交通の魅力
を引き出す

中津川市「公共交通オープンデータ」最先端田舎への挑戦
<http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/page/083350.html>

実施主体	館山市、南房総市、交通事業者							
実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	①							

施策 18	MaaS に関する取組着手
--------------	----------------------

事業の概要

○MaaS は、ICT を活用して交通をクラウド化し、公共交通か否か、またその運営主体にかかわらず、マイカー以外のすべての交通手段によるモビリティ（移動）を 1 つのサービスとしてとらえ、シームレスにつなぐ 新たな「移動」の概念である。

○観光需要の高い本地域の特性を鑑み、観光客の移動や滞在支援等を目的とした MaaS の取組を、南房総市とともに検討していく。

【施策事業】

- 南房総・館山地域版 MaaS として、観光地、宿泊施設、医療施設等多様な業種と連携し、一体的なモビリティ確保に向けた取組に着手する。

MaaSの概要

国土交通省

6

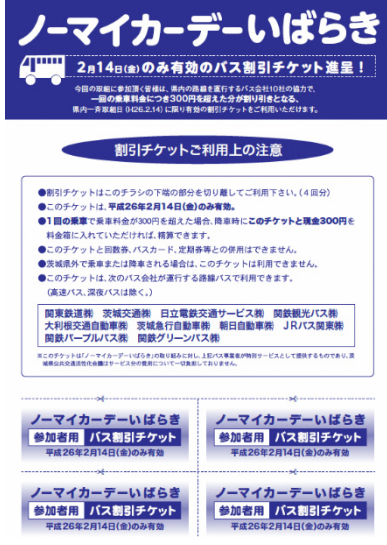
実施主体	館山市、南房総市、交通事業者、観光団体等							
実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	①							

24

施策19 南房総市と連携したバス路線マップの作成	
--------------------------	--

事業の概要	・地域住民や来訪者に、市内の 地域 公共交通 の運行内容をわかりやすく伝えるため、路線網・運行ダイヤ・路線間の接続状況・運賃などを盛り込んだ公共交通マップを作成し、全戸配布 ・ 各主要施設において配布する。 ・ 運行ダイヤ、運賃の変更等、必要に応じて順次改訂する。 ■南房総市公共交通ナビ 							
実施主体	交通事業者、館山市、南房総市							
実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	①バス路線マップの作成							

施策20 官公庁でのノーマイカーデーの実施	
-----------------------	--

事業の概要	【施策事業】 ・ 過度なマイカー利用を抑制するため、日頃マイカーで通勤を行っている官公庁職員に対し、あらかじめ設定したノーマイカーデーに、より環境にやさしい公共交通機関等を利用して通勤等をしてもらう施策を展開する。  							
実施主体	館山市、交通事業者							
実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	①ノーマイカーデーの実施							

施策 2 1	公共交通利用のメリットに関する市民への普及活動実施
--------	---------------------------

事業の概要	【施策事業】 生涯学習出前講座「でまえ・いっしょ」などの地域の人々とのコミュニケーション施策を通じて、交通事業者や市民と協働して地域に公共交通利用の大切さを普及する活動を展開する。 車がないと生活できないまち ↓ 車を運転できなくても自由に移動できて豊かな生活ができるまち 高齢者、18歳未満、ケガをしたとき、お酒を飲むとき・・・ 誰でも 歩いて、 自転車で、 公共交通で、 マイカーで、 選択できる  安く便利にみんなで使う公共交通							
	実施主体 交通事業者、館山市							
実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	①							
施策 2 2	家族で楽しめるバスや鉄道の乗り方教室の開催							

事業の概要	【施策事業】 公共交通を大切にする心を育むとともに、公共交通を利用する習慣を身につけることを目指して、高齢者や児童・生徒へ路線バスや鉄道の乗り方教室など教育活動の実施を促進する。 ■バスの乗り方教室（日東交通：袖ヶ浦市）  							
	実施主体 館山市、交通事業者							
実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	①							

施策２３	ファミリー向け割引制度等の導入							
事業の概要	【施策事業】 - 土曜日や日曜日などの休日に家族で出かける際、マイカーを控えて環境にやさしいバスをご利用してもらうための運賃割引制度を導入する。 - 通勤定期券を持っている人に同伴される同居の家族が、路線バスを現金で利用する場合、割引運賃で利用できる制度 ■ 休日家族割引（京王バス） 							
	実施主体	館山市、交通事業者						
実施時期	施策事業	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	①							